

期末考査の前に

中間考査・文化祭が終わって、期末考査直前。夏休みも、すぐそこまで来ています。

3年生は、夏の補習の申し込みが終わりました。短大や専門学校は、志望校選びが本格化。就職も、企業の求人票が学校に届く直前の時期です。

1・2年生も、あと一か月弱で一学期が終わります。高校生活のリズムは、作れているでしょうか。

どの学年も、**進路実現のために大切なのは、授業を中心とした、机の前での「本気」の勉強です。**「予習—授業—復習」のサイクルを、確立させていきましょう。!(^^)!

*

*



「あたりまえ」の違い

ある部活動の顧問の先生が、集会でお話しになっていた言葉を紹介します。

自分の「あたりまえ」のレベルを、どれだけ高めているか。
「あたりまえ」の違いが、勝負を決める。

試合当日、「今日は試合なので、頑張って成果を上げよう」と考えるのと、「今日も、普段通りに頑張ろう」というのとの違い。試合が始まる前から、勝負はついてしまっている。

*

*

ある年の、文化祭の「模擬店」の後片付け。一人の生徒は、ついてしまった油が、完全にきれいになるまで、雑巾と洗剤を使って、丁寧に掃除をしていた。その生徒にとって、自分たちが使わせてもらった場所を、「来た時よりも美しく」するのは、「あたりまえ」のこと。彼女たちにとって、掃除は、表面的に見える所だけ、ザーッと済ませるのではなく、隅々まできちんときれいにする事なのです。



しんどそうに思える掃除などが、「あたりまえ」に出来ないと、勉強でも、部活動でも、少ししんどいことが起こると、すぐにそこから逃げてしまう。

50m走を、毎日10本やるのが「あたりまえ」のクラブと、そんな体力作りをやっていないクラブとの違い。その50m走×10本に、全力で取り組んでいるクラブと、同じメニューでも、テキトーにこなしているクラブとの違い。



自分たちの「あたりまえ」の違いが、試合本番では、**すさまじい差となって現われる**、このようなお話しでした。

*

*

西高には、真剣な顔で授業を受けている生徒、小テストに必ず満点に近い点数を取る生徒、予習を欠かさず授業に臨む生徒、休み時間や放課後に、先生に質問している生徒、多くの「本気」の生徒がいます。

掃除や勉強、部活動への取り組みについて、**自分の「あたりまえ」を振り返ってみて欲しいと思います。**「本気」の生徒が、今以上に増えていくことを、願ってやみません。!(^^)!

高校生活のリズム作り

学年の先生や、各教科の先生方も、すでに、おっしゃっておられることだと思いますが、**高校生活のリズム作りのために、大切な「定石」**を紹介したいと思います。

次の各項目について、毎日の生活を点検してみてください。

*

*

- 起床時間、学習開始時間、就寝時間を固定しているか
- 計画を立てて学習に取り組んでいるか
- 目標や目的をもって学習に取り組んでいるか
- 宿題や予習、小テストにまじめに取り組んでいるか
- 授業への取り組みの姿勢はどうか
- 定期考査のための復習を始めているか

これらの「あたりまえ」の事柄に、この一学期、しっかりと取り組めている生徒に、秋以降の学力の伸びが見て取れる、というデータがあります。!(^^)!

つまり、**高校生活のリズム作りが、皆さんが進路実現に向けて、一次予選を無事通過出来ているかどうかを見極める、バロメーター**であると言えるのです。

高校3年生にとっては、この**一学期は、「基礎力養成期」**。

これまでの学習事項のなかで、理解が不十分なところや、正確に覚えきれていないところを把握しましょう。弱点分野の克服を進めながら、理解を確実にしていき、夏休みの「基礎力完成期」に備えましょう。



高校生活のリズムを作って、毎日の学校生活を大切に積み上げていってください。

時間の使い方、3つのポイント

1 生活時間の3点固定と「学習開始時間」の固定

「起床」「夕食」「就寝」時間の固定です。それと、「学習開始時間」「学習場所」「学習教材」の固定も大事です。

学習開始時間は、早めに設定しましょう。クラブで疲れてしんどくても、スマホを置いて、まずは机に座る習慣を作りましょう。

『恋人』（自分がこれと決めた教材）とは、『いつもの時間』に『いつもの場所』で、『デート』（勉強をすること）です。!(^^)!

2 まとまった学習時間をつくる

苦手分野の復習や問題演習には、時間がかかります。まとまった時間を作って、じっくり取り組みましょう。教科書やノート、問題集の説明を読んで、もし分からないところがあったら、その翌日、学校の先生に質問しましょう。西高の先生方は、かならず丁寧に答えてくださいます。!(^^)!



3 休日の時間を有効に

平日にできなかったことを、その週の週末にカバーしましょう。一週間の計画の遅れも、休日を利用することで、取り戻すことができます。

無理のない計画を立てましょう。!(^^)!